

JR連合青年女性委員会

第19回役員研修会開催

3月19日、大阪市内において、JR連合青年女性委員会第19回役員研修会が行われ、貨物鉄産労より2名・南関東ロジより1名が参加しました。なお、コロナウイルス対策としてWEBリモート併用にて開催されました。

冒頭、挨拶に立ったJR連合荻山会長は「コロナ禍に置いての業務・組合活動に感謝申し上げる。急激に社会環境が変化してお

り、JR産業としても大きなかじ取りをしなければならぬ。JR産業の持続的な発展に向けて、労働組合としての役割を理解し活動していく必要がある。本日の研修会でJR連合の取り組みなどを知って頂き、実りある研修会にして欲しい」と挨拶がありました。

JR連合中村交通政策部長による「コロナウイルス感染症によるJR産業への影響とJ

R連合の取り組み」の講義では、署名活動実施や国へ働きかけを行った取り組みについて、その他、GOTOトラベルキャンペーンや現行の運賃制度についても説明がありました。

続いて、JR連合今井企画部長による「JR連合ビジョンの実践に向けて」の講義では、鉄道業という業種は専門的知識が多く必要となり、

動が不可欠である。また、JR産業においては、地域や政治との関わりが必須であり、ボランティア活動や時事問題について常に関心をもちたいと説明を受けました。

その後、各グループに分かれて、「JR産業の現状について・労働組合の取り組み・青年女性組合役員の役割」についてグループ討議を行い、

・JR産業は危機的な状況にあり、将来に不安を抱き離職者も発生している。青年組合役員として、親身になって悩みや職場の改善点を聞くなど、日頃からのコミュニケーションが大切である。

・JR連合の横の繋がりを活かし、異業種や会社を超えた交流や学習会を開催する。

・コロナ禍であるが、リモート等を併用し、活動減とならないようにしたい。

・若手組合員に対し、JR各社の現状やJR連合の取り組みの大切さを伝える事が必要である。等々、様々な意見が出ました。

新型コロナウイルスの影響により、初のリモート併用・半日開催となりましたが、大変有意義な時間を過ごすことができ、本日も学んだことは貨物鉄産労青年部にも水平展開していくこととします。



JR連合荻山会長



JR連合中村部長



JR連合今井部長

視野が偏ってしまいがちになるが、JR連合の横の繋がりを活かして幅広く知識を得ることが出来る。そして、仲間をもっと増やすためにも、組織強化や民主化活

